

元気アップ 主体会

2019. 11 Vol.47

サマーセミナー 「医療法人社団主体会創立50周年記念講演」



も く じ

サマーセミナー	1	看護川柳大会	5
特集 サマーセミナー	2	健康への窓	5
叙勲のご挨拶	3	施設行事	6~7
調剤薬局新設	3	部署紹介 主体会病院 訪問リハビリテーション	8
小山田記念温泉病院	4	元気アップコーナー・編集後記	8

開会の挨拶

社会福祉法人青山里会 理事長 落合将則



落合将則青山里会理事長

特別講演Ⅰ 座長および講師紹介

主体会病院 院長 高瀬幸次郎



高瀬幸次郎主体会病院院長

《特別講演Ⅰ》

「人は・忍術よりみた日本人の心」

三重大学人文学部 教授 山田雄司



山田雅司三重大学教授

特別講演Ⅱ 座長および講師紹介

医療法人社団主体会 理事長 川村直人



川村直人主体会理事長

《特別講演Ⅱ》

「健康寿命とフレイル・サルコペニア」

名古屋大学大学院医学系研究科

地域在宅医療・老年科学講座 教授 葛谷雅文



葛谷雅文名古屋大学大学院教授

講評(総括)

医療法人社団主体会 理事長 川村直人



濱口均小山田記念温泉病院院長

閉会の辞

小山田記念温泉病院 院長 濱口 均



主体会病院 院長
高瀬幸次郎

叙勲のご挨拶

元号が令和になり最初の春の叙勲の榮譽を賜りました。

厚生労働省関連の瑞宝小綬章の受章者は、全国で23名、三重県内では、私1名であり、私にとってあまりにも大きすぎる榮譽であり、驚きと感謝に胸がはじける思いをしています。

5月24日、厚生労働省講堂において、天皇陛下の璽の押された賞状と勲章を同省より授与されました。省内で昼食をいただいた後、モーニングの胸に勲章を着け、用意されたバスで皇居内へ移動し、皇居内の長和殿、春秋の間で、天皇陛下に拝謁させていただいたときは、章の重みを、さらに強く感じました。

受章後は、多くの皆様より、祝福していただき、感謝に堪えません。

今回の受章は、私の人生で、最初で最後の出来事と思いますが、この榮譽を糧に、さらに、今後も地域医療に皆様と協力しながら、最高の医療を提供していくことに貢献していかなければならないと改めて、気を引き締めています。皆様、今後もよろしくお願い申し上げます。



当法人では、秋から
外来患者様の処方が
院外処方へと
変わりました。

調剤薬局新設

院外処方とは、厚生労働省が推進する医薬分業の方針に基づく制度です。

医師が診察してお薬を病院でもらうのではなく、会計時に院外処方せんをもらい、地域の保険薬局にそれを持っていき、お薬を受け取っていただきます。

院外処方にするメリットとしては、薬局でお薬を受け取る時に今までより詳しくかつわかりやすい説明を患者様は聞くことができます。

また、お薬についてゆっくり相談することもできるので今まで聞けなかったことや何気ない疑問なども話しやすくなると思います。

病院ごとで別々の薬局に行くのではなく、一カ所の薬局(かかりつけ薬局)を決めておくことで複数の医療機関を受診されても相互作用(飲み合わせ)やお薬の重複投与のチェックができます。

この機会に是非、かかりつけ薬局を決めるようにしましょう。

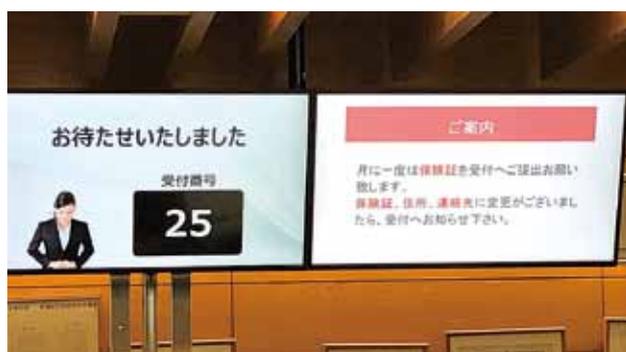
(薬剤部 喜畑)

小山田記念温泉病院

「小山田記念温泉病院の受付に案内ディスプレイが登場」

7月より会計の際に、名前ではなく番号でお呼びするシステムに変更しました。

個人情報を考慮して行うことにしましたが、これによってついうっかり聞き逃したり、難聴の患者さまにも会計が済んでいることが、人目でわかるようディスプレイモニターに番号が映し出されます。並びのもう一つのディスプレイには病院からの案内やお知らせも流れますので、お待ちの時間にぜひご覧いただけたらと思います。



「思いやり駐車場を10台分拡張！」

小山田記念温泉病院の外来駐車場の思いやり駐車場を、このたび6台から16台へ増やしました。



「メゾン小山田リフォーム工事」

小山田記念温泉病院のメゾン小山田（職員寮）の改装工事を約9ヶ月かけて行いました。

築33年の寮ですが、このたび全45室をリフォームし、快適な住まいへと生まれ変わりました。主な変更点は畳からフローリングの床に、押入れをクローゼットに、各部屋に単独エアコン、ウォシュレットトイレを完備しました。Wi-Fi環境も整い、日夜問わず働く職員にとっての安らぎの空間となることを大いに期待したいです。



思いやり駐車場は障がい者や妊産婦、けが人などの歩行が困難な方のため、車いすの使用に必要な広い区画幅を持った駐車場のことをいいます。これを利用するには思いやり駐車場利用証が必要となりますので、所定の手続きのうえ交付を受けてからご利用いただきたいと思います。また雨天時には屋根付の乗降専用の停車スペース(6台分)も配備していますので、合わせてご利用ください。まだまだ駐車場事情は万全とはいえませんが、少しでも改善できるよう努めてまいります。

(小山田記念温泉病院 事務長 中島)



主体会病院看護、介護部主任会では平成25年からフィッシュ活動を取り入れています。フィッシュ活動とは、仕事を楽しむ・人を喜ばせる・注意を向ける・態度を選ぶという行動原理を意識することです。

昨年大好評だった看護・介護川柳大会を今年は病院あるあるをテーマに行いました。心温まるものからユーモアあふれるものまで様々な句が多数集まりました。このような取り組みを通し、看護師・介護士が仕事にゆとりを持ち、リフレッシュでき、患者様に温かい笑顔が提供できたらと今後もこの活動を続けていきたいと思ひます。

(主体会病院 看護部 主任 池田由美)

<p>看護・介護主任賞 針先が ぼやけて見える お年頃</p>	<p>看護副部長賞 歩けたの？ 部屋の前からこんにちは</p>	<p>看護部長賞 今日もまた 認知のあなたと 知恵比べ</p>	<p>院長賞 患者様 励ますつもりが 励まされ</p>	<p>理事長賞 食べてない あられのにおいするけどね</p>
-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------	------------------------------------

一、食生活 患者には指導 マック行く
二、マスク顔 朝も来たよな 同じ顔
三、こちらこそ 血管でいて ありがとう
四、疲れても 患者の笑顔が 心のささえ
五、やっぱりね おどおどしたら 再穿刺
六、申し送り 大事なことでも 伝言ゲーム
七、座ってる 引田天功もびっくり
八、帰れそう 言った途端に 入院です
九、気が焦る 時に限って 鳴ってくる
十、清潔に 3秒ルール ありません
十一、ありがとう その一言で 頑張れる
十二、穿刺ミス 次回行けるか トラウマだ



禁煙のすすめ

主体会病院 内科 前田尚武

日本人の喫煙率は以前と比べるとずいぶんと低下してきています。50年以上前には男性の80%以上がタバコを吸っていたのですが、最近では25%程度にまで少なくなってきました。

喫煙による影響というと、多くの方はまず第一に『肺癌』を考えるとと思いますが、肺癌以外にも非常に多くの病気に関係しています。咽頭癌や舌癌などの各種癌、慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患、心筋梗塞や脳卒中などの循環器疾患、さらには糖尿病や骨粗鬆症などの原因にもなると言われています。また女性の場合には妊娠中の合併症や胎児への影響も指摘されています。

最近では受動喫煙問題も色々と取り沙汰され、喫煙に対する世間の目も厳しくなっています。

今もなかなか喫煙をやめられないアナタ、周囲から煙たがられないように、禁煙を考えてはいかがですか？ 治療の一つとして禁煙に取り組むこともできますよ。

施設行事

みえ川村老健

第25回ときわ盆踊り大会

毎年恒例の盆踊り大会！
利用者様のご家族様はじめ、ボランティアの
皆様のご協力ありがとうございました！



流しそうめん

流れてくるそうめん
に舌鼓を打ちました。



ボランティアさんのオカリナ演奏



童謡からむかし懐かしい
懐メロまで楽しく演奏を
聴きました♪



みえの郷

お出かけ会 4月17日

「でめでめ」へお出かけし、たくさんおいしく頂きました。



なかよし会 5月23日

恒例になりました、「なかよし会」のみなさんに来て頂き、歌や踊りを楽しみました。



七夕会 7月3日

めぐみの園幼稚園のかわいい園児さんと交流。



夏祭り 8月6日

ダイルームで夏祭りをしました。
夕方からゲームを楽しみ、かき氷も食べました。



100歳のお祝い 9月

伊藤いわさん
令和1年9月に100歳を迎えられました。
四日市市長より祝証をいただきました。



部署紹介

主体会病院 訪問リハビリテーション

主体会病院訪問リハビリテーションは理学療法士3名、作業療法士1名(令和1年9月21日現在)が所属しています。訪問リハビリにおいては利用者様の心身機能はもちろんですが、その方の取り巻く環境、その方の人生に応じたリハビリを提供できればと考えて活動しています。

訪問リハビリは急性期、回復期、維持期の中の維持期に分類されるので、病院のリハビリで向上した身体機能を維持することを目的としているイメージがあるかもしれませんが、決してそんなことはありません。退院後も訪問リハビリを含めた介護サービスを利用することで、退院直後にはできなかった事ができるようになっていく方も多くみられます。

維持期は生活期とも呼ばれ、その方々の生活に応じたアプローチをすることで変化がもたらされることもあります。訪問リハビリ職員はそのような変化をもたらし、少し



でも多くの利用者様が笑顔になってもらえるように日々頑張っていきたいと思っております。

(主体会病院 訪問リハビリテーション 理学療法士 上田 誠)



ウェルスポ主体会「からだラボ」

最近では子どもたちの体力低下がいらわれていますが、当院でもここ数年夏休みに近隣地区の小学生に集ってもらい運動教室を開いてきました。今年は8月9日に日永カヨーで親子向けセミナーを開催しました。内容としてはフットプリント(足の発達チェック)、スパイロメトリー(呼吸機能、体幹柔軟性のチェック)、姿勢のチェックを実施しました。

参加者は延べ50人にのぼり、親子でご自身の身体やお子さんの身体に向き合っていただきました。保護者からスタッフに多くの質問もあり、お子さんの身体に対する関心の高さや身近に相談できる人がいないといった現状も知ることができました。

(主体会病院 リハビリテーションセンター 中西・福岡・葛西)



編集後記



「東京オリンピック」を来年に控え、2021年には「三重とこわか国体」が開催される予定となっており、私のまわりではスポーツへの機運が高まっています。体を動かすことは健康づくりにいいことは知られていますが、スポーツ観戦をするだけでもストレス発散や健康増進につながる事が最近の研究で報告されてきています。スポーツを「する」ことが億劫な中でも、まずは「観る」ことから始めてみませんか。

(主体会病院 総合リハビリテーション 理学療法士 主任補佐 石野 聡)